

## 3年ぶりの天王グリーンランドまつりで特産物販売

8月21日(日)、新型コロナウイルスの影響で中止していた天王グリーンランドまつりが、3年ぶりに開催されました。当JAも3年ぶりに出店し、管内産の小菊や「NAMAHA GEダリア」、枝豆などの農産物を販売しました。

天王グリーンランドの各所で多彩な出店やステージイベントなどが開かれ、会場内が大勢の人でにぎわいました。当JAのブースにも多くの来場者が立ち寄り、枝豆の詰め放題に袋が切れるまで挑戦する人や慎重に詰めていく家族連れ、自宅用に小菊を購入する夫婦や好きな色のダリアを選ぶ親子などの姿が見られました。

管内特産物が並んだ当JAのブース



## 秋物農機展示会

8月22日(月)と23日(火)に追分農機センターで、25日(木)と26日(金)に雄和農機センターで秋物農機展示会が開かれました。会場にはコンバインやトラクター、管理機や動力噴霧器などといった様々な農業機械や農機部品が並び、秋作業を控えた多くの生産者が最新型の農機具を一目見ようと訪れました。

農機センターの職員やメーカーの担当者らが各機種の特徴を解説し、来場者は説明に耳を傾けながら、それぞれの性能を比べました。操作手順や手入れ方法などを質問したり、普段の農作業をふまえて生産者同士で意見を交わしたりする姿もありました。

最新型の農機具を見る生産者



## NEWS & TOPICS

## ネギ立毛品評会・研修会で品質向上を目指す

9月6日(火)、生産者の栽培技術や単収、産地競争力の向上などを目指して、ネギの立毛品評会が管内で行われました。当JAの営農担当職員らが圃場を巡り、ネギの生育状態や出荷適期、雑草や病害虫の発生状況などを確認して審査しました。

13日(火)には秋冬ネギの現地研修会と目揃え会が秋田市雄和で開かれ、生産者ら約20名が参加しました。収穫時期をふまえた防除体系を学んだほか、当JA産のネギの市場評価や出荷時の注意点などを確かめました。参加者は夏ネギと秋冬ネギの出荷規格の違いや収穫適期などの意見を交わり、品質向上への意識を高めました。

ネギの生育状態を審査する立毛品評会



## 旬の「男鹿梨」に行列

9月11日(日)、「男鹿梨トラック直売会」が道の駅おが「オガレ」で開かれました。中石梨選果場から搬入した「幸水」を、生産者らがトラックの荷台から直接出して販売しました。朝早くから多くの観光客や地域住民が「男鹿梨」を買い求め、販売数量は約2.7トンに上りました。

「男鹿梨」を知らぬ人に贈ろうと地方発送の手続きをする人が多く見られたほか、ばら売りコーナーには旬の梨を手土産に購入しようとする人が列を作りました。

同市五里合中石地区では9月中旬に「幸水」の収穫最盛期を迎えました。「幸水」の後は「豊水」「あきづき」「秋泉」「南水」が続きます。

旬の「幸水」を買い求める人々

